



流涙症

「涙がでる」比較的よくある症状です。涙は目にとって悪いものではありませんが、症状としては気になります。

大別すると2つになります。

- ① 分泌性流涙（分泌過多）
- ② 導涙性流涙（排水閉塞）

流し台で例えると、蛇口からの水がたくさん出て溢れるか、排水溝が詰まって溢れるかの違いです。

治療法はそれぞれで対応が異なります。分泌過多には、原因となる眼表面の変化があります。それを除去、改善することで治療します。

排水閉塞は、閉塞した導管を再開通することで症状の改善が期待できます。

【流涙症を訴える疾患】

- 第一位 ドライアイ
- 第二位 結膜弛緩症
- 第三位 涙道閉塞

ドライアイは10万人当たり17000人の有病率になります。まず、ドライアイを疑うことになります。

診療報酬改定

すでにニュースでもご存知の方も多いと思いますが、2年に一度の診療報酬改定が今月から開始となります。厚労省は2年に一度、診療報酬の保険点数を改定することで、その時代にあった医療制度の修正をはかっています。

昨今の物価高に合わせて、医療用材、医療器具など値段が上がっています。また、人件費の上昇もあり、それに対応した変更となっています。先月までと同じ内容でも少し窓口負担が変わっているかもしれませんが、国の決定した制度なのでご了承ください。

健診開始

国民健康保険に加入の方で、偶数年齢の方は区から眼底健診の案内が来ると思います。

眼底検査を受けることで、内科的疾患のリスク、白内障や緑内障、その他眼底疾患の発見など有意義な内容となっております。

内科健診の際に案内されると思います。良い機会ですので、是非ご利用してください😊